

特別
講座

Vol.1


手のデッサン講座

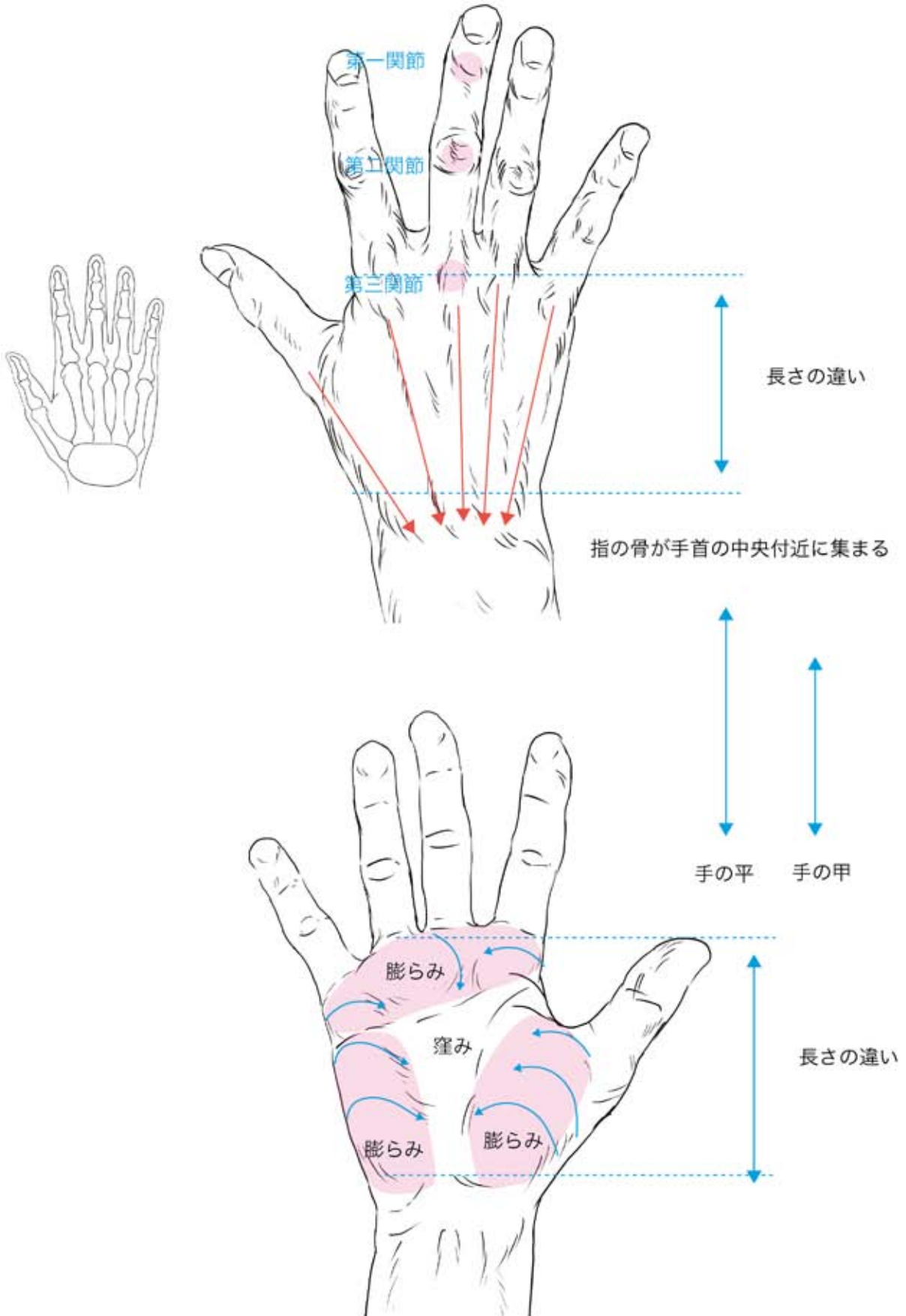


人体表現の代表的なモチーフである「手」について学ぼう！



トーリンでは手のデッサンの強化を目的として特別講座を開催しています。オリジナルテキストを用いて行われる年間の中でも特に人気の講座です。ここではテキストの一部をご紹介します。

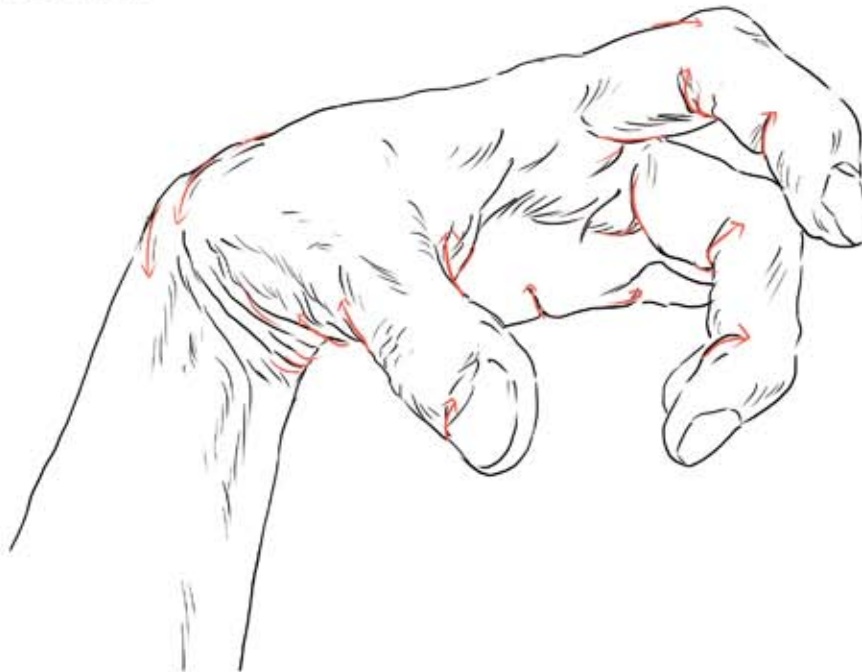
 手の平と手の甲の特徴



形の表し方

○線の出入りで立体感

一本の線で描くのではなく、「張り / 膨らみ」ごとに線を描き分けていくことが大切です。手の形は「外側から内側へと入り込む形」が多いので、線の出入りをよく観察しましょう。



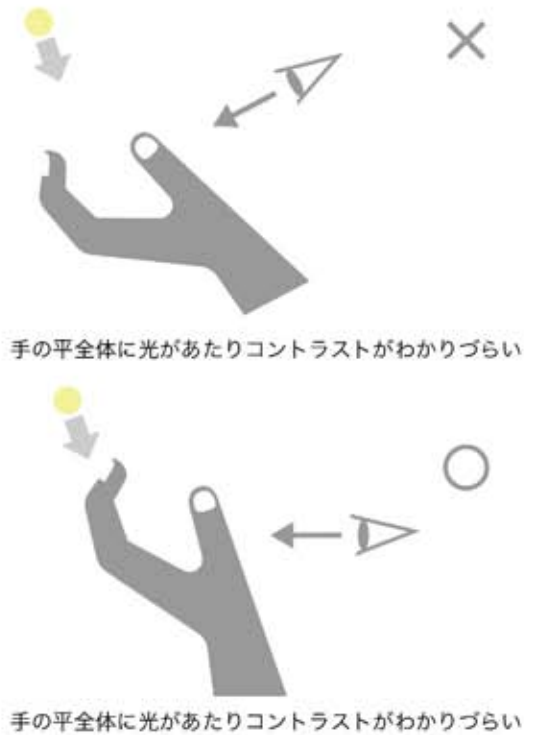
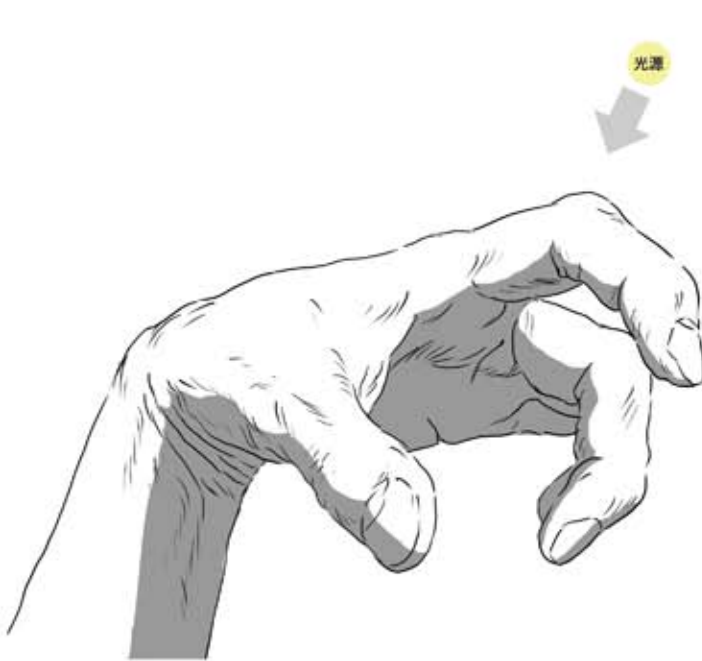
○稜線の出入りで立体感


「形の変わり目」を稜線といいます。形の変化が手の特徴を表しています。稜線には輪郭部に表れる稜線、輪郭の内側にある稜線があります。稜線を探りながら下書きを進めていきましょう。



 光の方向を明確にし、光と影のコントラストを作り出す

○絵の中で光と影の印象をわかりやすく設定しましょう。手を自分の目の高さに持ってくると光と影のコントラストがわかりやすくなります。



 制作プロセス



比率や面の向きに注意しながら、稜線を捉えていく。



光の方向を表しながら、手の形を探り修正を重ねていく。



見せ場を優先的に進めながら、色幅を増やしていく。



描き込みながら全体の色調のバランスを整えていき完成。